



特集

事例検討会

保健師にとっての意義を改めて考える

現場で働く保健師なら、事例検討会に参加したことがない人はほとんどいないでしょう。それぐらい保健師にとって身近な業務の1つですが、最近、「忙しい」「時間がない」「集まらない」などの理由で、疎かにされている傾向があるようです。しかし、事例検討会は、対象理解を進め、支援方法を探るための貴重な場であり、その過程を通じて、自らの専門技能を客観的に見つめ直せる機会でもあります。

本特集では、改めて事例検討会の意義を捉え直すとともに、効果的に事例検討会を進めるポイントを探ります。また、実践報告として、他職種と連携で行っている取り組み、職場内の教育的意味合いをもつ取り組み、有志によるインフォーマルな取り組みをご紹介します。

